

12/1 花柳琴臣さん講座（今年度最終）

今年度、3回目の「花柳琴臣さん講座」がありました。今回は全校児童生徒が受講しました。1,2年生は、保育園のみなさんと一緒に、扇子を使って礼儀の学習をしました。9年生は、卒業間近ということで、琴臣さんに、「卒業のたむけの舞」を踊っていただき、大変感動しました。



12/4 村議会・教育委員会合同訪問

白川村村長様、村議会議員様、教育委員会の皆様、学園の普段の授業の様子を見ていただきました。児童生徒達は、いつも村の方々に支えていただいていることに感謝しながら、これからも学園生活を頑張っていきます。



12/9 地域公開日（第4回子ども未来会議）

12/9(土)に地域公開日がありました。当日は、保護者の皆様、村長様、村議会議員の皆様、教育委員会の皆様、地域の皆様と、約150名の方にご参観いただきました。多数ご参観いただき、ありがとうございました。この日は、教科の授業を公開した後、各学年ふるさと学習などを公開しました。4年生の「合掌造り屋根組み」では、ふれあい体育館で、本物の木を使って、白川郷合掌家屋かや屋根技術舎の皆様と一緒に、実際の木を使って、屋根組みを行いました。2年生の「サツマイモスープ作り」では、自分たちで収穫したサツマイモを使ってスープを作り、保護者の皆様方とおしくいただきました。7年生の「白山学習」では、白水湖に見学に行ったことを参考に、白山の火山活動も視野に入れながら、防災について考えました。

公開授業（ふるさと学習等の内容）

| | |
|-----|-----------------|
| 1年生 | あきのおもちチャンド |
| 2年生 | サツマイモスープ作り |
| 3年生 | お餅つき(栃もち) |
| 4年生 | 合掌造り屋根組み |
| 5年生 | 民謡学習 |
| 6年生 | 結につながる地域活動 |
| 7年生 | 白山学習 |
| 8年生 | 日本と白川村の未来を考える |
| 9年生 | 白川郷 PR-VTR お披露目 |

後半は、5～9年生が保護者を含め地域の皆様と一緒に、子ども未来会議を行いました。話し合いの中で、これからも白川村に観光客がたくさん来るためにはどんな工夫があるか、新しい産業を増やすためにはどうすればよいかなど、白川村の未来について、大人と児童生徒、教職員で一生懸命考えました。最後に、学校運営協議会会長の和田正人さんが、「将来、白川村に帰ってくることが貢献ではない。帰ってきて村の何かを変えられることが本当の貢献である。また、たとえ帰ってこれなくても、村のことを思い、自分の力で何ができるのか考えることが、貢献である」と話していただきました。



子ども未来会議テーマ

「ひとつになる「統」」(統一) 「続けていく「統」」(伝統)

12/8 ひびきあい集会

誰もが安心して生活できる学園を目指して、各学級、ひびきあい集会で「ひびきあい宣言」を発表しました。今後は、どの学級も宣言を守ること、より温かい人間関係を築いていこうと思います。



<各学級の宣言>

<こぶし・ふきのとう>

- ・おじぎつきあいさつ
- ・「あじめ」を意識したあいさつ

<1年生>

- ・話しかけられたら相手を見て返事
- ・あったかい言葉を1日5個以上使う

<2年生>

- ・1秒で相手に目と心に向けて最後まで聞く
- ・「あじめと」のあいさつ

<3年生>

- ・自分から笑顔であいさつ
- ・相手の気持ちを考えて話す

<4年生>

- ・相手に笑顔で話す
- ・自分から相手に声をかける(あいさつ・やさしい言葉)



<5年生>

- ・合い言葉(支えあい・はげましあい・ほめあい・呼びかけあい・伝えあい・協力しあい・分かりあい・認めあい・助けあい・学びあい)
- ・認めあう反応

<6年生>

- ・言葉を選ぶ
- ・相手の様子を見る
- ・相手のがんばりを認める

<7年生>

- ・人を認める
- ・その場に適した態度をとる
- ・人が笑顔になる行動

<8年生>

- ・みつめる
- ・みつめる
- ・みとどける

<9年生>

- ・全員と関わる
- ・休んだ人に配付物を届ける
- ・相手を思った言葉遣いをする

12/14 クラブ発表会

前期課程4～6年生が4月からのクラブでの頑張りを発表する会がありました。当日は、クラブ講師の先生方、保護者の皆様、成長した姿を見ていただきました。

太鼓クラブの新谷さゆりさん、紙しばいクラブの荒井恵子さん、三味線クラブの大杉晴美さん、囲碁クラブの新谷保雄さん、ゲートボールクラブの大洞森雄さん、茶華道クラブの宮田絹代さん、谷口早苗さん、小坂初代さん、1年間ありがとうございました。



入賞おめでとう！

下呂市バレーボール交流大会 男子：準優勝
 高山市中学校新人戦バレーボール大会 男子：3位
 「私が考えた学校給食メニューコンクール」
 優秀賞主菜部門：神田栄貴 優秀賞副菜部門：木下歩紀



JOCジュニアオリンピック
 第31回全国都道府県対抗中学バレーボール大会参加
 9年：成原拓巳
 (岐阜県の男子バレーボールの選手の中で12人に選ばれ、12月25日～大阪で開かれる全国大会に出場します)
 岐阜県の代表として頑張ってね！



書き損じはがき。テレフォンカード集めます！

岐阜県PTAより、PTA基金のお願いがあります。集めるものは、未投函の書き損じはがき(宛先不明で戻ってきたものはダメ)、テレフォンカード(1回でも使用しているものはダメ)です。年賀はがき作成中に書き損じたはがきなどを保管していただき、3学期に学校に持ってきて担任に出してください。ご協力よろしくお願いします。地域の方々も、もしありましたら。近くの児童生徒に預けてください。ご協力よろしくお願いします。(1月26(金)まで集めます。)

1月の予定



| 日 | 曜 | 主な予定 | 最終下校 | | 部活 |
|----|---|--------------------------------------|-------|-------|----|
| | | | 前期 | 後期 | |
| 1 | 月 | 元日 | | | × |
| 2 | 火 | | | | × |
| 3 | 水 | | | | × |
| 4 | 木 | | | | ☆ |
| 5 | 金 | | | | ☆ |
| 6 | 土 | | | | ☆ |
| 7 | 日 | | | ☆ | |
| 8 | 月 | 成人の日 | | | ☆ |
| 9 | 火 | | | | ☆ |
| 10 | 水 | | | | ☆ |
| 11 | 木 | 3学期始業式 | 11:15 | 11:15 | × |
| 12 | 金 | 9年実力テスト | 16:15 | 16:35 | × |
| 13 | 土 | 石川県私立高校推薦入試 | | | ☆ |
| 14 | 日 | | | | ☆ |
| 15 | 月 | 発育測定 租税教室(9年) 県中体連スキー | 15:15 | 16:35 | × |
| 16 | 火 | 県学習状況調査(4,5,8年) 委員会 | 16:15 | 16:35 | × |
| 17 | 水 | 白川郷学園ふれあいコンサート(後期課程ホール) スクールカウンセラー来校 | 16:15 | 16:35 | × |
| 18 | 木 | スキー教室(1~4年) 水見市立灘浦小交流(5,6年) | 16:15 | 16:35 | × |
| 19 | 金 | | 16:15 | 16:35 | × |
| 20 | 土 | | | | ☆ |
| 21 | 日 | | | | ☆ |
| 22 | 月 | スキー教室(5~8年) | 15:15 | 16:35 | × |
| 23 | 火 | | 16:15 | 16:35 | × |
| 24 | 水 | 命を守る訓練 | 16:15 | 16:35 | × |
| 25 | 木 | 9年学年末テスト 保育園交流(5年) | 16:15 | 16:35 | × |
| 26 | 金 | 全校研究授業 | 15:15 | 15:15 | × |
| 27 | 土 | | | | ☆ |
| 28 | 日 | 飛騨高山高校通信制課程学校説明会 | | | ☆ |
| 29 | 月 | 学費振替日 | 15:15 | 16:35 | × |
| 30 | 火 | | 16:15 | 16:35 | × |
| 31 | 水 | | 16:15 | 16:35 | × |

「ひとりだち」への取組
自分を表現する力UPへ
二学期は、多くの行事があり、多くのお客様をお迎えしました。

行事は、体育大会に始まり、祭礼、村民文化祭、地域公開日など、毎月大きな行事がありました。今学期は、何と「260名」を超える皆様が学園を訪問されました。

9年生から始まった「歓迎合唱」は、3~4年生まで発表しました。7~9年生は、自分たちの学習成果をプレゼンする機会が多くありました。この様な状況で、子どもたちは、人前で話す力(伝える力、プレゼンテーション能力)が高まったと思います。

しかし、授業で「分かりません。教えてください。」がしっかり言えない子が多いです。「先生~先生~」となっています。しっかりと意思表示できることを新学期に頑張ります。 (副校長)

2月主な予定

- 1日(木)委員会
- 2日(金)スーパー高校生(7,8年)
- 3日(土)岐阜県私立入試
- 4日(日)村民スキー大会
- 7日(水)入学説明会
- 8日(木)橋本教授来校
- 9日(金)芦田創さん講演会
- 10日(土)11日(日)岐阜県私立入試
- 14日(水)スクールカウンセラー来校
- 15日(木)9年生ありがとうの会・学級懇談会
- 19日(月)岐阜県公立出願
- 22日(木)学年末テスト(5~8年)
- 23日(金)富山県公立出願

ワクワクあふれる義務教育学校

白川郷学園

ひとりだち 自立・共生・貢献

白川郷学園だより 1月号
平成29年 12月26日

ホームページ
<http://school.shirakawa-go.org>

親守歌が聞こえる

校長 水川 和彦



白川郷学園のにぎやかな12月が終わろうとしています。この2学期、子どもたちは本当によく頑張りました。体育大会、村民文化祭、地域公開日と、大きな行事を重ねるごとに、子どもたちは、ゆたかでたくましい姿に変容してきたものと思っています。これも、皆様のご支援のおかげと、心より感謝申し上げます。

子どもは知らぬ間に大きくなります。しかし、何事もなく成長するわけではありません。何度もつまずき、そして悩み、時には親にそのいらだちをぶつけながら成長していきます。親は、何度も何度も子守歌を聴かせ、何度も何度も子どもの心に寄り添いながら、時には叱り、時にはぎゅっと抱きしめながら子育てを続けていきます。

子どもへの愛情は必ず伝わります。子どもは親の愛情を決して裏切りません。この1年、学園の教育を支えてくださいました保護者の皆様、学校運営協議会の皆様、そして地域の皆様に、少しでもほろ苦い、けれどすてきな話を贈ります。イエローハットの相談役である鍵山秀三郎さんの講演でのお話だと聞きます。皆様どうぞ、よいお年をお迎えください。

心の風景「親守歌が聞こえる」

私が中学3年生で、高校受験を間近に控えた寒い冬のことであった。私は中学2年生の頃から、先生の勧めもあり、他の二人の友人と共に天草を離れ、熊本市内の高校を目指して頑張っていた。父母も特に反対しなかったため、当然、行かせてもらえるものと考えていた。しかし、市内の高校に行くことになれば、下宿が必要で、そのために要する費用は大変なものだった。8人の子どもをかかえた“五反百姓”の我が家には、到底そのような余裕などなかったのである。

正月も近まったある寒い夜、私は父に呼ばれて、囲炉裏の端に座らされた。私の心は期待でどっぴっていた。母も父の横に座って、私をじっと見つめていた。そして、父が言ったのである。「熊本はあきらめて、天草の高校に行ってくれ。」私は驚き、「なんでや!」と父に向って、大声で叫んでいた。私は泣きながら、父の甲斐性の無さを何回も何回も大声でのしつた。日頃厳しい父も、その時は目をつぶったまま、無言で何かをかみ締めているようであった。

母は何かを頼むような目で私をじっと見つめ、その目には涙が光っていた。しかし、私は消えかけた囲炉裏の火を見つめながら、父母をのしり続けたのであった。その夜から、私は全然勉強せず、家族にも口を開かなくなった。そのため、家の中は毎日何となく重苦しい雰囲気が続いていた。母は何かと用件を作って、私のところへやって来て、話しかけるのであった。しかし、私はそんな母を徹底的に無視し続けた。

そして、年が明けて元旦となった。私の家では、毎年元旦の朝には、家族全員がそろって初詣に行くことになっている。元旦の朝、母は何回も私の所へやって来て、一緒に来るように必死で頼んだ。しかし、私はそんな母を無視し布団をかぶったまま寝ていた。それで母はどうとうあきらめて、出て行った。

ふと気が付くと、枕元に五、六枚の年賀状があった。私は布団の中で、何気なくそれを手にし、たいした感情も無く、一枚ずつそれをめくっていった。それはほとんど同じクラスの友達からのもので、「今年も頑張ろう」「今年もよろしく」という内容のものであった。しかし、最後の一枚を読んで私は驚いた。それは年賀らしくない長々しいものであり、エンピツ書きで、所々、なめたらしい濃い部分が残り、カタカナ混じりで書かれていた。差出人の名前はなかったが、私にはそれが同じ家に住む母からのものだと言うことは直ぐに分かった。「お前に明けましておめでとと言うのは、本当につらいです。でも母ちゃんは、お前が元旦に皆の前で笑いながら、おめでとと言うってくれる夢を何回も見ました。母ちゃんは、小さい頃お前が泣き出すと、子守歌を歌って泣き止ませました。でも、今はもうお前に歌ってやる子守歌もないので、本当に困っています。今度はお前が母ちゃんに、親守歌を歌ってほしい。」

私は、元旦の布団の中で、声をあげて泣いた。そして、泣きながら、母にあやまり続けた。それは、反抗期の私に対する母の、心からの子守歌だったのである。そして、この年賀状こそ、まさに母の心の匂いであり、心の風景だったのである。私は、この母の子守歌のおかげで立ち直り、地元の高校に進学し、その後、大学にも進学した。

「心の風景」—それは家族、友人、知人、地域の人たち、そんなあらゆる人たちの、人と人とのつながりの原点なのである。